

# 平成19年1月教育委員会定例会会議録

## 報告事項

報 第13号 平成19年度和歌山県公立小中学校管理職候補者選考検査第二次検査結果について

西原小中学校課長から、平成19年度和歌山県公立小中学校管理職候補者選考検査第二次検査について、受検者数、合格者数などの結果報告があった。委員からは自己推薦制度を利用しての受検について、制度が形骸化しないように運用されたい旨の意見が出され、報告のとおり了承された。

## 付議事項

議案第37号 第70回（平成27年）国民体育大会招致に関する決議（案）について

森岡スポーツ課長から、本県のスポーツ振興と県民の心身の健康の保持増進を図るため、我が国最大のスポーツの祭典である平成27年の第70回国民体育大会を招致する決議（案）について説明があった。開催にあたっては可能な限り県内で行うとともに、近畿府県の既存施設を有効活用した広域開催をするという内容であった。委員からは、地元開催の競技種目についての質問が出され、スポーツ課長から、今後各府県や県内競技団体等と調整しながらどの競技種目を開催するかを決めていきたいとの説明があった。以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第38号 和歌山県民交流プラザ和歌山ビッグ愛・ビッグホエール設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）について

スポーツ課長から、現在ビッグ愛に入居中の団体が使用する会議室を変更することに伴い、当該会議室の供用を廃止する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第 39 号 和歌山県立特別支援学校設置条例（案）について

議案第 40 号 和歌山県修学奨励金貸与条例の一部を改正する条例（案）について

特別支援教育を推進するための学校教育法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、関連する条例に所要の改正を行いたい旨の説明が、議案第 39 号について岸田県立学校課長から、議案第 40 号について勝丸生涯学習課長からあり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第 41 号 平成 18 年度末事務局等職員人事異動方針（案）について

中村総務課長から、平成 18 年度末事務局人事異動方針（案）について説明があった。事務事業の整理合理化、重点施策の進展等の課題に対応するため適材を適所に配置すること、積極的な人事交流を行うこと、組織活性化のために優秀な人材を抜擢すること、また、これらに配慮した公正かつ適正な人事異動を行うことについて説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第 42 号 平成 18 年度末教職員人事異動方針（案）について

県立学校課長から、平成 18 年度末教職員人事異動方針（案）について、本県教育の一層の充実・発展を期し、適正な学校運営、教育効果の向上を図るために行うとの説明があった。委員からは、中央教育審議会や教育再生会議等で検討されている中核市等への人事権移譲についての質問が出された。西原小中学校課長から、都道府県教育委員会連合会から、また現状の議論を憂慮している有志都道府県教育委員会から、慎重審議の申し入れ等が行われており、本県もその考え方に立っている旨の説明があった。委員からは、地域間で教育の質に差が生じないように、現行の制度を保つようにとの意見が出され、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第 43 号 和歌山県職員定数条例の一部を改正する条例（案）について

総務課長から、行財政改革プランにおける職員定数の削減計画

に基づき、教育委員会事務局の定数を5名削減し、224名としたい旨の説明があり、原案のとおり決定した。

議案第44号 和歌山県立学校等職員定数条例の一部を改正する条例（案）について

小中学校課長から、児童生徒数及び学級数の変動に伴い、教職員定数を小学校で5名減、中学校で59名減、県立学校課長から、県立中学校で14名増、高等学校で56名減、特殊教育諸学校で20名増したいとの提案があった。委員からは、定数の削減にあたっては、各所属の人員配置の状況について十分な検討を行った上で決定されるようにとの意見が出された。以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第45号 教職員の職員の処分（案）について

県立学校課長から、必履修科目について学習指導要領に反する行為のあった高等学校長を処分したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第46号 事務局等職員の処分（案）について

総務課長から、必履修科目について学習指導要領に反する行為が県立高等学校で発生したことにより、指導監督の立場にあった事務局職員を処分したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。